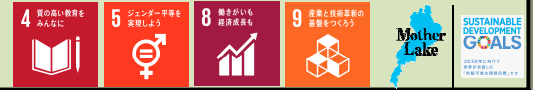


平成31年度当初予算【商工観光労働部 重点施策】

- ①滋賀の産業を支える人材の確保・育成の取組
- ②強靱な滋賀の産業構造の実現
- ③滋賀県独自の起業・事業承継支援
- ④体験・体感を軸とする滋賀の魅力満開の観光振興

滋賀の産業を支える人材の確保・育成の取組



少子高齢化の進行による労働力人口の減少や雇用情勢の改善に伴い、県内中小企業における人材不足が顕著
 ⇒ 人材の確保・育成に向けた取組を積極的に推進するとともに、若者や女性、障害者、中高年齢者、外国人など多様な人材の活躍を支援する。

滋賀の産業を支える人材の確保



東京圏等からの移住・就業を支援

- 新** 移住就業支援事業 【労働雇用政策課 12.2百万円】
 県内企業の求人情報等を効果的に発信するための**企業情報サイトの改修**とともに、東京圏から県内に移住して対象中小企業等へ就業した者に**移住支援金を支給する市町を支援**
○しがI J U相談センター情報発信事業【労働雇用政策課 6.2百万円】（市町振興課と折半）
 東京の「しがI J U相談センター」において移住に関する情報提供や相談に一元的に対応

プロフェッショナル人材の採用を支援

- プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業** 【商工政策課 30.0百万円】
 「滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、中小企業経営者に対して、企業の成長に必要な人材の活用を働きかけるとともに、協力関係にある複数の人材会社へ求人ニーズを取り繋ぐことにより、**県内企業と全国の専門人材のマッチングを支援**

外国人材の受入を支援






- 新** 外国人材受入サポート事業 【労働雇用政策課 42.7百万円】
 新たな在留資格を有する外国人材等の受入を希望する県内企業を対象に、**ワンストップの相談窓口「滋賀県外国人材受入サポートセンター」を開設**するとともに、**企業を対象とした外国人材採用セミナーを開催**
 県の就労支援窓口4か所に多言語翻訳機を設置し、外国人労働者の就労相談に対応

滋賀の産業を支える人材の育成



- 新** 高等技術専門校訓練科再編整備事業 【労働雇用政策課 16.7百万円】
 高等技術専門校の在校生の確保および県内企業の人材確保に向けて、**企業と求職者双方のニーズにマッチした訓練科に再編**
○地域創生人材育成事業 【労働雇用政策課 144.7百万円】
 介護、IT等の人手不足分野における従来の公共職業訓練では対応できない職業訓練を実施
○産業人材育成・確保のグッドジョブプロジェクト事業 【労働雇用政策課 22.1百万円】
 産官学金連携によるインターンシップの普及・拡大および魅力ある県内企業の情報発信
○働くなら滋賀！人材育成助成事業 【労働雇用政策課 5.1百万円】
 若年求職者が、働くなら滋賀の企業と感ずることにつながるるとともに、従業員のスキルアップや定着率の向上を図るため、県内中小企業に対して、若手従業員の人材育成に必要な経費を助成
○中小企業の若手イノベーション人材創出事業 【モノづくり振興課 7百万円】
 中小企業の若手設計者を対象に、異分野・異業種連携によるオープンイノベーションを推進し、商品企画・マーケティングなど事業全体をプロデュースできる人材を育成

多様な人材の活躍

| 若者 | 女性 | 障害者 | 中高年齢者 | 外国人 |
|---|---|---|--|---|
| 新 しがヤングジョブパーク事業 【労働雇用政策課 54.8百万円】 しがヤングジョブパーク（旧おうみ若者未来サポートセンター）において、若者を対象に、相談から就職、さらに定着までのきめ細かな就労支援と人材育成研修や合同企業説明会の開催等、各種事業を総合的に実施 新たに県内企業の相談窓口として「人材確保支援コーナー」を設置し、専門アドバイザーが人材確保に効果的なPR方法の提案や訪問による助言などを実施  | 拡 滋賀マザーズジョブステーション(MJS)事業 【女性活躍推進課 51.9百万円】 出産や子育てによる離職後、再就職を希望する女性などを対象に、就労にいたるまでの個別相談、無料託児の実施、求人情報の提供、職業紹介などをワンストップで提供 新たに セミナー&お仕事相談会を3地域で実施するとともに、保育所入所一斉受付開始前に子育て中の女性の就労支援を集中的に行う保活直前！お仕事探し応援ウィークを実施 新 女性のわくわく応援事業 【女性活躍推進課 3.3百万円】 主に子育て中の無業女性の 就労意欲を喚起 するため、MJS等の広報・周知を集中的に実施し、来所・相談につながる  | ○働き・暮らし応援センター事業 【労働雇用政策課 9.7百万円】 （障害福祉課と折半） 国の障害者就業・生活支援センター事業に、県独自で「就労サポーター」と「職場開拓員」を増員し、障害者の就労支援機能を強化 拡 チャレンジDWORK運動推進事業 【労働雇用政策課 2.8百万円】 県内企業による主体的な障害者雇用の取組を促進するため、優良事業所等の表彰や就職面接会の開催を行うとともに、 地域で障害者雇用を支える仕組みづくりを県内7圏域で推進  | 新 中高年人材新規就業支援事業 【労働雇用政策課 24.8百万円】 シニアジョブステーション滋賀において、中高年人材を対象に、意識啓発セミナー等による就労意欲の喚起から、個別相談、職業紹介までワンストップの支援を実施 新たに「企業相談コーナー」を設置し、県内企業による中高年人材の確保や受入環境改善に向けたアドバイスの提供、就職面接会の開催など、県内企業と中高年人材のマッチングを支援 ○高齢者等労働能力活用事業 【労働雇用政策課 10.3百万円】 シルバー人材センター事業への補助や家内労働等の各種情報の収集・提供により、高齢者等の多様な就業機会の確保を支援  | 拡 多文化共生推進事業 【国際室 運営費26.3百万円】 [H30補正:整備費8.2百万円] 外国人の在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子どもの教育等社会生活に関わる相談について、適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう、滋賀県国際協会に設置されている相談窓口業務の拡充を図ることにより、 情報提供および相談を行う一元的な窓口として「多文化共生総合相談ワンストップセンター」を整備・運営  |

強靱な滋賀の産業構造の実現



第4次産業革命が進展し、技術革新のインパクトがあらゆる産業分野に及ぶことが見込まれる中、本県の産業構造における優位性を維持するとともに、マザー工場や研究開発拠点などのモノづくり産業における知的資源を集積してきた本県の強みを活かし、先端技術の活用によるイノベーションの創出や第3次産業も含めた生産性の向上などの産業の高度化を支援することで、成長市場・分野を意識した新たな製品やサービスが次々と生み出され、将来にわたって成長を続けることができる強靱な産業構造の実現を目指す。

ビジネスモデルの創出



【拡】「滋賀SDGs×イノベーションハブ」推進事業 [商工政策課：6百万円]

滋賀の将来を見据え、従来の発想を超えるイノベーションを創出するため、産官官連携のもと、社会的課題の解決につながるイノベーションを創出するとともに、新たなビジネスモデルを発掘・構築

【新】「発酵産業」成長促進化プロジェクト事業 [商工政策課：4.4百万円]

国内の発酵文化への関心が高まる中、健康寿命の延伸や健康しがの推進を背景に、本県産業の優位性が発揮できる下地があると考えられる「発酵産業」について、事業者や関係機関等の有識者による研究を通じて、今後の可能性や方向性を検討

生産性の向上

【新】しがの産業生産性向上支援事業 [商工政策課：9.0百万円]

製造業において培われたカイゼン手法を引き続き進めるとともに、第3次産業でも展開し、現場の人材育成をはかることで、本県産業全体の生産性を向上させ、人手不足への対応や中小企業の競争力強化につなげる



【新】ものづくり現場のIoT改革モデル事業 [モノづくり振興課：4.8百万円]

県内中小企業の製造現場に対し、中小企業の実態に即したIoT化をモデル事業として行い、公開することで県内中小企業の生産性向上を支援



【拡】滋賀のモノづくりを支える物流効率化推進事業 [企業誘致推進室：7.4百万円]

物流関係事業者等による意見・情報交換の場となるプラットフォームの運営を通じて、モノづくりの重要なインフラである物流の効率化や産業基盤の強化を促進



次世代技術の研究・開発



【新】次世代技術リーディングプロジェクト構築事業 [モノづくり振興課：15.1百万円]

次世代技術等を活かした成長産業の育成を図るため、産学官で構成した共同研究体による研究開発を支援し、将来的に国等の競争的資金の獲得を目指すプロジェクトを構築

【新】地域未来プロジェクト構築支援事業 [モノづくり振興課：15.9百万円]

健康・医療機器をはじめとする「成長ものづくり」および「第4次産業革命関連」分野を中心とした研究開発プロジェクトのコーディネート支援機能の充実・強化

【新】3Dイノベーション創出推進事業

[モノづくり振興課：2.7百万円]

高度モノづくり試作開発センター内に設置する最新鋭の金属3Dプリンタをフル活用し、本県経済を牽引するイノベーションの創出を産学官連携により推進



産学官連携コーディネート拠点運営事業

[モノづくり振興課：12.7百万円]

大学等の研究シーズを有効活用して県内中小企業等の新製品・新技術の研究開発等につなげる支援体制を整備し、共同研究の推進や研究成果の事業化を促進



プロジェクトチャレンジ支援事業(補助金)

[モノづくり振興課：37.1百万円]

技術開発から事業化までの計画認定と認定計画に基づく技術開発の取組へ補助



【新】税制優遇措置による支援、操業支援に着目した施策のあり方の検討

企業立地促進のため、地域未来投資促進法の仕組みを活用した新たな税制優遇措置を創設するとともに、企業の様々なニーズに対応する新たな施策として、操業環境支援に着目した施策のあり方を検討

[企業誘致推進室]

滋賀県独自の起業・事業承継支援



本県では、平成28年度の開業率(4.8%)が全国平均(5.6%)を下回り、廃業率(3.6%)が全国平均(3.5%)を上回っている。特に廃業率について、企業経営者の高齢化、後継者不足等により、全国的に事業承継が課題となっている中、本県においても今後十分な対策を実施しなければ、2025年頃までに累計約4.3万人の雇用、約1,400億円の県内総生産が失われる恐れがあることから、事業承継を最重要課題の一つとし、2018年5月に支援機関等との連携による一体的な支援体制として立ち上がった事業承継ネットワークを核に県内全域で企業への訪問や相談などの支援を実施する。

起業支援



新 創業応援隊による起業準備者育成支援事業 [中小企業支援課 3百万円]

- ・起業準備者や起業して間もない立ち上げ段階の方に対し、インキュベーションマネージャーなどの創業支援に携わる支援者による継続的な伴走支援を実施
- ・起業準備者の掘り起こし、テストマーケティングに係る資金面の補助、支援機関による技術面・経営面のトータルサポート 等

滋賀発成長産業発掘・育成事業 [モノづくり振興課 10.2百万円] (滋賀テックプランター)



- ・新たな成長分野を切り拓き滋賀の経済成長を牽引する滋賀発成長産業の発掘・育成に必要なハンズオン支援の強化

地と知をつむぐビジネスデザイン構築事業 [中小企業支援課 39.3百万円]

- ・草津および米原に設置するSOHOビジネスオフィスによる創業まもない小規模な事業者の活動の支援およびネットワーク形成の促進

制度融資による金融支援



中小企業振興資金貸付金

開業資金 [中小企業支援課 671百万円]

- ・県内で新たに事業を始めるため、および県内で開業後、事業基盤を確立するために必要な資金を貸付

政策推進資金「事業承継枠」 [中小企業支援課 83百万円]

- ・円滑な事業承継を行うために必要な資金を貸付

事業承継支援



【中小企業支援課】

滋賀発 事業承継プロジェクト (集中取組期間：2018～2022)

滋賀県事業承継ネットワーク(事務局：大津商工会議所)

新 滋賀県事業承継ネットワーク地域事務局運営事業 [5.2百万円]

- ・潜在的な事業承継ニーズの掘り起こし、参画団体の連携による早期・計画的な事業承継の促進
- ・広報啓発、事業承継診断の推進、参画団体向け研修の実施、専門家紹介 等

滋賀県中小企業団体中央会

新 組合活用事業承継支援モデル創出・促進事業 [1.4百万円]

- ・モデル的な承継支援事例を創出し、効果的に波及
- ①キックオフセミナーの開催、②事業承継状況調査・モデル支援の実施、③先進事例の発信



滋賀県商工会連合会

新 若手後継者取組モデル創出支援事業 [2百万円]

- ・若手後継者の事業承継実践事例を創出し、意識高揚・加速化
- ①「ベンチャー型事業承継創出促進キックオフセミナー」開催、②「若手承継プランアイデアソン」の実施



滋賀県商工会議所連合会

新 後継者未定高齢経営者集中支援事業 [1.4百万円]

- ・高齢で後継者未定かつ収益性が低い事業者に対する支援事例を創出・発信
- ①該当者の集中的発掘、事業承継診断実施、②特に緊急性の高い事業者への集中的支援、③取組や支援内容をモデル事例として発信

新 滋賀県伝統的工芸品販路開拓支援事業 [2.2百万円]

- ・「東京インターナショナルギフトショー」へブース出展することで、新規顧客の獲得や販路の拡大を通して県内伝統的工芸品製造業者の経営基盤の強化を図り、事業承継に備える。

体験・体感を軸とする滋賀の魅力満開の観光振興



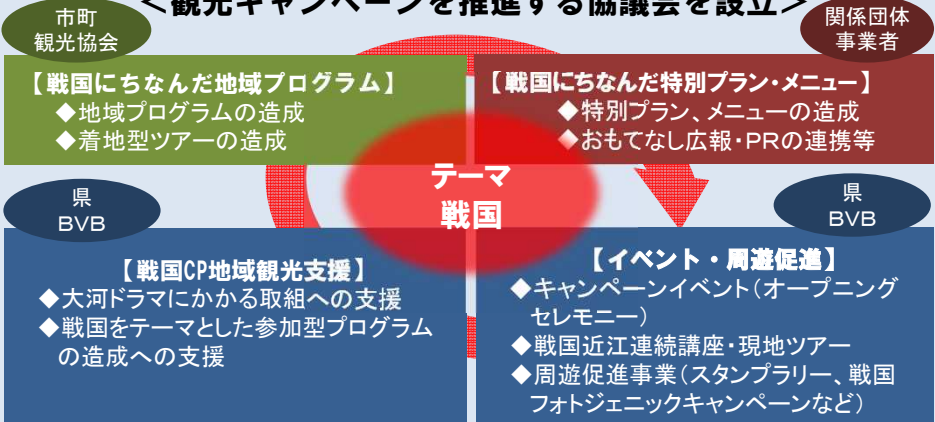
滋賀県の交流人口と観光消費額を増加させ、地域経済の活性化を図ることが必要
 ⇒戦国をテーマとする観光キャンペーンや県内各地の地域資源の魅力発信等を行い、滋賀への誘客や産品購買の拡大に向けて取り組む

新「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」観光PR推進事業 [103百万円]

NHK大河ドラマ『麒麟がくる』との連携

■キャンペーン実施期間
 2019年秋頃～2020年12月

<観光キャンペーンを推進する協議会を設立>



新 スカーレット放映を活かした魅力発信事業 [21百万円]

滋賀への
 スカーレット
 ツーリズムへ

NHK連続テレビ小説『スカーレット』との連携

- 【産品支援】
 - ◆定番土産・新商品開発支援 販売支援 など
- 【情報発信】
 - ◆キャンペーンロゴ展開 ◆特設サイトの設置
 - ◆ガイドブック作成 ◆キャラバン隊 など
- 【情報発信】
 - ◆トークセッション・探訪ツアー
 - ◆写真展、作陶体験講座の開催 など

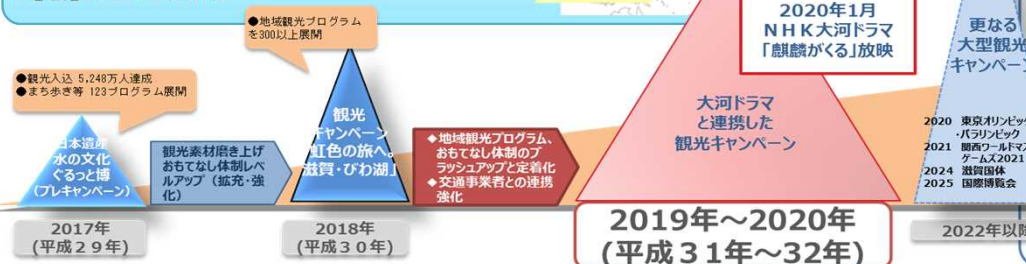
滋賀への誘客・産品購買・
 滋賀ファン拡大

新 観光人材育成等地域支援事業 [16.5百万円]

- 観光協会職員等を対象にした観光専門人材育成のための研修の実施
- 地域の観光素材を活かしたコンテンツの企画立案やエリア戦略の策定等への支援

国際観光推進事業 [32.9百万円]

- 【新】観光案内所の設置
 (関西ツーリストインフォメーションセンター京都内)
- 大阪・京都のホテルコンシェルジュによる情報発信
- 各市場に応じたプロモーションの推進
- 【新】おもてなし研修



ビワイチの推進 [30.3百万円]

- ◎新たな推進体制の構築～サイクリングブランド「ビワイチ」による持続可能な取り組み
 - 企業協賛、ユーザー課金等による公費だけに頼らない取組体制構築
 - ロゴマーク商品の開発促進 ○「ビワイチ」による「稼ぎ」創出支援
 - 国内外への継続的情報発信(他地域との連携、国内外プロモーション)
- ◎誰もがサイクリングを楽しめる環境づくり
 - 初心者サイクリストサポートの検討・実施 ○サイクリング総合相談窓口の設置
 - 走行しやすいサイクリングコース発信(実地調査、見直し等)
 - サイクルツアーガイド組織の検討 ○おもてなし力向上研修会(サポステ)
- ◎安全情報の発信～ルールとマナー遵守～
 - 安全な自転車利用啓発、サイクリングルートの安全情報等発信



情報発信拠点「ここ滋賀」における事業展開 [211.9百万円]

体感型「ココクール」魅力発信事業 [6.6百万円]



ここ
 滋賀
 COCOSHIGA

- ◎滋賀を語る
 - インフルエンサーの活用によるSNS等での情報発信強化
 - 市町等との協働による、企画催事や食を通じた魅力発信
- ◎ともに創り・稼ぐ
 - 首都圏での商談会開催など、販路拡大に向けた支援
 - テストマーケティングなど、新商品等のチャレンジ支援
- ◎滋賀へいざなう
 - 専任コンシェルジュの設置など、総合案内機能の強化
 - 屋上テラスでの滋賀の魅力ある風景等掲出による発信